

## 「くだんしたこどもひろば」の利用状況について

平成 31 年 4 月 8 日に開設し、子どもの遊び場及び区内保育所等の代替園庭として活用している「くだんしたこどもひろば」の利用状況について報告する。

### 1 「くだんしたこどもひろば」概要

場 所	千代田区九段南 1 - 3 - 5 (民間の土地を区が一時借用)
設置期間	平成 31 年 4 月 8 日～令和 4 年 11 月末 (予定) ※土地の所有者が再利用に着手するまでの間を予定
利用対象者	(1) 主に幼児及び小学生とその保護者。但し、中学生及び高校生も利用できる。 (2) 未就学児を対象とした保育所等の施設
開放時間	毎日、午前 9 時から午後 5 時 (年末年始を除く)
運営方法	管理人 1 名を管理事務所に常駐させ、ひろばの管理や清掃、遊具の貸出しを行う。

### 2 利用実績

令和元年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用人数	658	741	811	703	369	768	751	970	733	706	905	1,644	9,759	(人)
実施回数	23	31	30	31	31	30	30	30	28	28	29	31	352	(回)
1回あたり	28.6	23.9	27.0	22.7	11.9	25.6	25.0	32.3	26.2	25.2	31.2	53.0	27.7	(人)

令和 2 年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用人数	875	759	575	536	630	871	994	1,080	801	-	-	-	7,121	(人)
実施回数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	-	-	-	272	(回)
1回あたり	29.2	24.5	19.2	17.3	20.3	29.0	32.1	36.0	28.6	-	-	-	26.2	(人)

(注) いずれも 10 時半及び 16 時半時点の利用人数を合算している。

- ・令和元年度 3 月の利用人数が多いのは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために令和 2 年 3 月 2 日から区立学校が臨時休業になったことにより、平日も多くの子どもたちが遊びに来ていたためである。
- ・令和 2 年度 5 月～6 月はミニバスエリアを閉鎖したため、その分の利用人数が減っている。
- ・令和 2 年度 7 月は雨天の日が多かったため (令和元年 7 月の雨天日: 7 日間、令和 2 年 7 月の雨天日: 15 日間)、利用者が少ないが、8 月以降はすべて令和元年度の利用実績を上回っている。

### 3 利用者（子ども、保護者）アンケート結果

ひろばの開設から約1年間、利用者を対象にアンケートを実施した。

- ◆ アンケート実施期間 平成31年4月27日から令和2年3月20日まで
- ◆ アンケート結果の考察

#### 【子ども向けアンケート】回収数=113

Q1：どこの学校か⇒区立小学校が約7割を占めており、①九段小②富士見小③お茶の水小の順となっている。区外や私立の小学校は2割弱で、内訳は新宿区立と文京区立の小学校、千代田区内にある私立小学校等となっている。その他、幼稚園や保育園と答えた子どもが約1割いる。

何年生か⇒1年生が若干多いが、6年生まで満遍なく回答があった。中学生の回答者は一人しかいないが、実際には多くの中学生にも利用されている。

Q2：何をして遊んだか⇒サッカー、キャッチボール、バスケットボールなど、ボールを使った遊びに人気が集まっている。「野球」という回答もあったが、「くだんしたこどもひろば」では安全のため以下のルールを設定している。

- ・ 木製バット・金属バット・硬球の仕様は禁止。  
(ボール遊びエリアに限り、プラスチックバット・柔らかいボールの使用は可。)
- ・ ゆうぐエリア及びウッドデッキエリアでのボール遊び、素振りは禁止。

Q3：誰と遊んだか⇒①いつもの友達②兄弟・姉妹③親の順となっているが、「今日出会った新しい友達」と答えた子どもも1割弱いる。

Q4：次は何をして遊びたいか⇒「今日何をして遊んだか」と比較して回答が多かったのが、「おにごっこ」と「ドッジボール」。また、全ての項目に○を付けた子どもも多かった。

Q5：いつもどこで遊んでいるか（くだんしたこどもひろば以外）⇒公園がほぼ半数を占める。「家」と答えた子どもは少なく、「くだんしたこどもひろば」に遊びに来ている子どもは、日常的に屋外で遊んでいると思われる。

#### 【保護者向けアンケート】回収数=110

Q1：どちらにお住まいか⇒千代田区内在住が8割以上を占め、①富士見②飯田橋③神田神保町④九段南の順となっている。麴町地区の割合は6割強、神田地区の割合は4割弱で、千代田区外では新宿区、次いで文京区の順となっている。

Q2：ひろばまでどうやって来たか⇒徒歩が半数程度を占める。次いで自転車が4割弱。電車と車、風ぐるまを合計すると2割以上いるが、「千代田区役所に用事があったり来たが、そのついでに子どもを遊ばせた」という方もおり、「くだんしたこどもひろば」を目的地として訪れたかどうかは不明。

ベビーカーの有無⇒約1割の保護者がベビーカーで乳幼児を連れてきている。

Q3：ひろばを何で知ったか⇒①広報千代田（約4割）、②教育広報かけはし（約2割）、③通りすがり（約2割）の順となっている。広報紙の周知効果が高いと言えるが、たまたま通りかかって利用した親子も一定数いる。

Q4：誰と来たか⇒大半が「自分の子どもと来た」、また8割近くが「就学前の子どもと来た」と回答している。

Q5：今後どんな遊びをやらせたいか⇒サッカーがいちばん多いが、どの遊びにも票が入っている。子ども向けアンケートにも言えるが、日本でワールドカップが開催された影響か、その他で「ラグビー」という回答が目立った。

Q6：平日にお子さんはどこで遊んでいるか⇒公園（約4割）、児童館（約3割）の順。そのほか、放課後子ども教室・学校（園）・学童クラブなど、基本的に区が子どもの居場所として提供している場所で遊んでいる。

休日にお子さんはどこで遊んでいるか⇒公園（約5割）、その他（約1割）の順で、その他の内訳は番町の庭、有料施設、家の周囲など。就学前の子どもを安心して連れていける場所が選ばれていると考えられる。

Q7：プレーリーダーはどうだったか⇒「大変良かった」と「プレーリーダーとは遊ばなかった」が同数となっている。プレーリーダーと遊んだ子どもとその保護者には好評であったが、約半数はプレーリーダーがいても一緒に遊ばず、親子や子ども同士で自由に遊ぶほうを選んでいる。

自由意見：夏の熱さ対策に関する意見、公園に比べて遊具が物足りないという意見、ボール等の遊び道具を増やして欲しいという意見などがあった。

#### 4 プレーリーダータイムの廃止について

ひろばの開設から1年間、「プレーリーダータイム」を実施していたが、令和2年度以降は廃止することとした。

##### <プレーリーダータイムとは>

子どもたちの遊びをサポートするため、毎週土曜と日曜の午後2時から4時まで、「くだんしたこどもひろば」のボール遊びエリア及びミニバスエリアを中心にプレーリーダーを配置した。

##### <廃止の理由>

- ・常時開放型の遊び場であるため、プレーリーダータイムが始まる前に、親子や子ども同士で既に遊びができあがっていた（他の遊び場ではプレーリーダーの到着開始と同時に事業が始まり、プレーリーダーの見守りのもとでボール遊び等が行われる。）。
- ・プレーリーダータイムとその他の時間帯の利用人数に大きな差がなく、プレーリーダータイムにひろばを訪れても、プレーリーダーとは遊ばない子どもも多かった。

⇒ 以上を踏まえ、委託事業者とも相談の上、プレーリーダータイムを廃止した。

## 5 中学生及び高校生の利用について

「くだんしたこどもひろば」も他の子どもの遊び場と同様に、「幼児及び小学生」を主な利用対象としているが、周知が進むにつれて「中学生及び高校生」の利用が増えてきた。

中高生と小学生が同一エリア内で遊ぶことは、体格差を考えると危険とも言えるが、「くだんしたこどもひろば」には公園的な側面もあるため、中高生の利用を認めないということは、居場所を奪うことにつながってしまう。

そこで、検討を重ねた結果、以下のルールを設定した。

- ①中高生がウッドデッキエリアに腰掛けておしゃべりするなど、居場所として「ひろば」を利用することは容認する。
- ②「ボール遊びエリア」内は小学生以下を優先とし、その旨を掲示する。

掲示内容：原則として、中高生の利用は小学生以下の子どもが利用していない場合に限りま  
す。また、小学生以下の子どもが利用しようとする場合には、退出をお願いすることがあります。

- ③エリアを問わず、ひろば内で危険行為や迷惑行為を見かけた場合は管理人が注意する。